

第29回 令和4年度

29 千葉県建築文化賞

主催 千葉県 共催 一般社団法人千葉県建築士会

後援 (公社)千葉県建築士事務所協会、(公社)日本建築学会関東甲信越支部千葉地域会、
 (一社)日本建築構造技術者協会関東甲信越支部JSCA千葉、
 (一社)千葉県設備設計事務所協会、(一社)日本建築学会関東支部千葉支所

入賞の結果を千葉県ホームページよりご紹介します。当会は後援しました。千葉県建築文化賞検討会議委員長の総評は原文のままご紹介します。各作品の詳しい内容は千葉県のホームページをご覧ください。

一般建築物の部

千葉県建築文化賞検討会議委員長 北原 理雄

総評

一般建築物の部への応募は25点であった。

各用途に興味深い作品が見られ、受賞にいたらなかった作品にも質の高いものが多かった。



知的
障害の
個性も
つ利用
者と
地域を
繋ぐ
居心地
の良い
住まい

最優秀賞の「エルピザの里」は、知的障害者の生活施設である。交流ホールと5棟の生活ユニットが中庭を囲む構成をとり、これによって入居者が特性に合わせて居場所を選べる生活の場をつくり、同時にホールを介して地域と積極的につながる運営を可能にしている。木造(一部RC造)でぬくもりのあるヒューマンスケールの空間、また既存施設のある敷地でユニットを活用しながら建て替えを進めた建設計画と併せて高く評価された。

エルピザの里

建築主:社会福祉法人 清輝会
 設計:株式会社 ゼロ・アーキテクトプラス
 コンサルティング
 施工:輝建設 株式会社
 所在地:千葉市緑区高田町149-2



(撮影/フォトワークス松田哲也)

風景の中で自然に
囲まれて育つ子どもたち



優秀賞の「のだのこども園」は、既存の幼稚園に隣接したこども園である。大きな樹木のある敷地を活かし、木架構の建物が外廊下を介して園庭とつながる細長いプランをとっている。部屋と園庭を自由に行き来し、土の上を駆けまわる子どもたちの笑顔が印象的であった。

のだのこども園

建築主:学校法人 加藤学園
 設計:水上哲也建築設計事務所 一級建築士事務所
 施工:株式会社 篠原工務店
 所在地:野田市審昌338-2



(撮影/鈴木研一)